

# 信州医学雑誌投稿規程

- 1) 投稿資格 本学会員に限る。共著の場合は全員が会員であることを必要とする。
  - 2) 投稿の種類 綜説、論説、原著、短報、速報、症例報告、CPC、実験技術など。
  - 3) 論文の内容 原著は他誌に未発表のもので、なるべく簡潔、平易な記述が望ましい。
  - 4) 執筆規程
    - a) ヒトを対象とした研究については原則として所属施設の倫理委員会（もしくはそれに準ずるもの）の承認を得ている、あるいはヘルシンキ宣言を遵守して行われたものであることを論文中に明記すること。また、患者プライバシー保護に関する指針（信州医学会 HP <http://s-igaku.umin.jp>）を遵守すること。動物を対象とした研究については所属施設のガイドラインに準拠していることを論文中に明記すること。
    - b) 原稿の形式は、表紙、abstract（英文250単語以内とその和訳、綜説・論説には不要）、本文、文献、表、図の説明、図の順序とし、ほかにコピー各2部を添える。（ただし、写真についてはオリジナル3部）また、投稿の際には投稿承諾書（Authorship Agreement Form、共著者全員が自筆署名捺印）、Conflict of Interestに関する申告書（corresponding authorが自筆署名捺印）を添付する。投稿承諾書、COIに関する申告書は信州医学会 HP（<http://s-igaku.umin.jp>）からダウンロードする。  
投稿者は、紙原稿とコピー2部に加えて、原稿テキスト全体（表紙、abstract、本文、参考文献、表および図の説明からなる）と図を記録した2枚の記録ディスク（CD-RあるいはDVD-R）を提出する。原稿はMicrosoft Wordで作成し、.docxおよび.txtファイルとして保存する。図は.jpgまたは.tiffファイルとして保存する。すべての画像のカラーモードはCMYKで、解像度は最低300dpiとする。筆頭著者の名前（および筆頭著者と異なる場合は責任著者）、論文タイトル、投稿日、およびディスクフォーマットの種類をディスクのラベルに記載する。また、投稿前に必ず英文校正を受け、投稿時に英文校正証明書（copy可）を提出する。
    - c) 原著、症例報告は和文10,000字以内、英文3,500単語以内、いずれも図表8個以内とする。綜説は和文12,000字以内、英文6,000単語以内、図表10個以内とする。字数はいずれも図表の説明は除く。なお、規程字数を超える場合はその理由を編集委員長宛の cover letterに明記する。
    - d) 用紙は、A4判を用いる。ワードプロセッサを用いて、横書き1行24×22行=528字を1枚とする。査読終了後、最終稿を入力したCD-RあるいはDVD-Rに著者名、使用機種・ソフト名を明記して提出する。
    - e) 表紙の記載順序は、和文題名、著者名、所属名、欧文題名、著者名ローマ字、所属欧文名、内容索引作成に必要なKey words（5個以内とし、欧文名と日本語名とを記入する）、20字以内のランニング・タイトル、本文総枚数、図、表の枚数、別刷希望部数（朱書）とする。また論文の責任者（corresponding author）の氏名、連絡先、E-mail addressを明記する。編集部への希望事項は別紙に記入して添付する。
    - f) 本文の項目わけは、次のようにする。I……、A……、1……、a……、(1)……。
    - g) 書体と用語は、明瞭な字体で、口語体、ひらがな文で書き、なるべく日本医学用語委員会制定の用語を用い、十分推敲した原稿とする。句読点、括弧を正確につけ、1字分としてあける。欧文で記載される原語は欧文タイプで記入する。薬品名は一般名を使用する。動物、植物、細菌などの学名は2命名法によってイタリック体で記載する。一般に略語として意味が通じるもの以外は、略語の使用は極力避ける。止むを得ず略語を用いる場合には、最初に必ずフルスペルを記載すること。
    - h) 度量衡の単位は、原則としてC. G. S.単位を用い、符号のあとには点を付けずに、次の例に準ずる。  
例 m mm μm nm l ml μl kg g mg μg mg/dl ppm °C Bq Gy sec min hr
    - i) 図・表は、刷り上がり1頁以内におさまるようにする。原寸大で印刷できるように（最大16cm×23cm）写真等を組み合わせてセットされたものが望ましい。文字や印は縮小、拡大を考慮してレタリング等で直接原図に入れる。挿入箇所は原稿の欄外に図1、表1のように朱書する。図表の中の文字、説明は欧文でもよいが、長文の場合は欧文校閲の必要性が生ずるので和訳を付すこと。顕微鏡写真の場合にはその倍率の記載に注意すること。原寸大で準備されていない場合は縦横の対比に注意し縮小された場合にもよく判読しうるように作製されていること。
    - j) 引用文献は、本文の引用箇所番号を付し末尾にまとめ、次の例に準じて引用順に並べる。  
雑誌……著者名：題名、雑誌名（類似の誌名がある時は発行地を併記）巻：頁-頁、発行年（西暦）  
単行本……著者名：書名、第何版、引用頁（頁-頁）、発行所、その所在地、発行年（西暦）  
分担執筆……著者名：章の表題、編集者名、書名、第何版、章の頁-頁、発行所、その所在地、発行年（西暦）  
なお著者名は6名までは全員記載、7名以上の場合には最初の3名を記載し4名以降は他とする。  
引用雑誌の略称は、欧文雑誌については“INDEX MEDICUS”に、和文雑誌については、各投稿者の所属する学会の投稿規程に準ずること。
- 1) 杉 英樹、小池綏男、降旗力男：乳癌と他臓器悪性腫瘍の合併例に関する経験と考察。信州医誌 25：367-373, 1977
  - 2) 石田 隆、篠崎浩治、寺内寿彰、他：腹腔鏡下胆嚢摘出術後の創部に認めた腹壁子宮内膜症の1例。日消外会誌 49：563-568, 2016
  - 3) 田中 潔：医学論文の書き方。pp 1-20, 医学書院、東京、1968
  - 4) 河村成子：脂質代謝障害。草間敏夫、中沢恒幸（編）、神経の変性と再生、その基礎と応用、第1版、pp 155-172, 医学書院、東京、1975
  - 5) Sheahan DG, Jervis HR: Comparative histochemistry of gastrointestinal mucosubstances. Am J Anat 146:130-132, 1976
  - 6) Maude SL, Frey N, Shaw PA, et al: Chimeric antigen receptor T cells for sustained remissions in leukemia. N Engl J Med 371:1507-1517, 2014
  - 7) Bloom W, Fawcett DW: A textbook of histology. 10th ed, pp 179-227, Saunders Co, Philadelphia, 1975
  - 8) Berl S, Nicklas WJ, Clarke DD: Coupling of catecholamines and amino acid metabolism in the nervous system. In: Santini M (ed), Golgi centennial symposium: Perspectives in neurobiology, pp 465-471, Raven Press, New York, 1975
- ウェブページ……題名、発行所、発行年（西暦）（Accessed アクセスした月日、年（西暦）、at URL）
- 5) 原稿の採否 投稿原稿の採否と掲載順序の指定は、編集委員会において決定する。論文は2名以上の編集委員（必要に応じて編集委員会が適当と認めた者を含める）によって査読され、論文内容の加除訂正を求められることがある。
  - 6) 校正 校正は初校のみ著者が責任をもって行う。校正に際して原文の変更あるいは追加を認めない。
  - 7) 別刷 投稿の際、原稿の表紙に必要部数を朱書して申し込む。費用は、依頼原稿を除いて全額投稿者負担とする。
  - 8) 掲載料 依頼原稿を除き、すべて有料とする。（1頁各1,000円。研究会などの抄録については1頁各10,000円。写真版、図版、トレースの実費をこれに加算する。特別掲載については別途扱いとする。なお原則として論文以外はすべて実費。）
  - 9) 原稿の送り先 〒390-8621 松本市旭3-1-1、信州大学医学部内「信州医学会」に持参または郵送する。

(2019年4月改訂)

## 信州医学雑誌掲載著作物に関する著作権規定

本誌に掲載された論文等の著作権、複製権および公衆送信権（送信可能化権を含む）に係わる権利等は、信州医学会に帰属いたします。

### 複製される方へ

信州医学会では、複写複製に係る著作権を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。

当該利用をご希望の方は、(社)学術著作権協会 (<https://www.jaacc.org/>) が提供している許諾システムを通じてご申請ください。

複写以外の許諾（著作物の引用、転載、翻訳等）に関しては、同協会に委託いたしておりません。直接、信州医学会へお問い合わせください。